

〔卒業後の状況調査〕

1 中学校卒業生

(1) 平成17年3月の中学校卒業生数は54,863人(男子28,108人,女子26,755人)で,前年より3,352人(5.8%)減少している。

「高等学校等進学者」は53,604人(男子27,391人,女子26,213人)で,前年より3,172(5.6%)減少している。

「専修学校(高等課程)進学者」は108人(男子49人,女子59人)で,前年より41人(27.5%)減少している。

「専修学校(一般課程)等入学者」は80人(男子43人,女子37人)となっている。

「公共職業能力開発施設等入学者」は48人(男子45人,女子3人)となっている。

「就職者(進学者は含まない)」は319人(男子243人,女子76人)で,前年より42人(11.6%)減少している。

「左記以外の者」及び「死亡・不詳の者」は704人(男子337人,女子367人)で,前年より74人(9.5%)減少している。

表10 中学校の進路別卒業生数

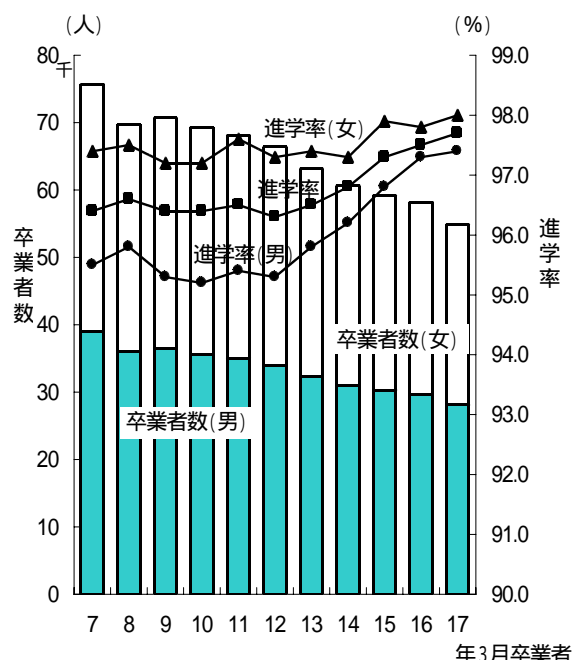
区分	卒業生数	高等学校等		専修学校 (高等課程) 進学者 A	専修学校 (一般課程) 等入学者 B	公共職業 能力開発 施設等入 学者 C	就職者 D	左記以 外の者	死亡・ 不詳の 者	ABCDのうち 就職してい る者(再掲)	高等学校等		就職率 (%)
		進学者	うち通信制 課程を除く								進学者 (%)	通信制課 程を除く (%)	
平成7年	75,706	72,974	72,854	781	512	...	789	643	7	99	96.4	96.2	1.2
8年	69,691	67,333	67,219	667	446	...	604	631	10	46	96.6	96.5	0.9
9年	70,680	68,164	67,984	602	443	...	726	737	8	44	96.4	96.2	1.1
10年	69,283	66,815	66,644	575	416	...	619	852	6	47	96.4	96.2	1.0
11年	68,133	65,738	65,482	495	251	117	581	944	7	46	96.5	96.1	0.9
12年	66,383	63,926	63,668	521	259	98	577	996	6	28	96.3	95.9	0.9
13年	63,198	61,017	60,635	335	172	118	531	1,017	8	44	96.5	95.9	0.9
14年	60,647	58,681	58,345	303	179	119	475	888	2	15	96.8	96.2	0.8
15年	59,176	57,599	57,302	176	124	103	364	806	4	30	97.3	96.8	0.7
16年	58,215	56,776	56,401	149	89	62	361	777	1	14	97.5	96.9	0.6
17年	54,863	53,604	53,235	108	80	48	319	698	6	21	97.7	97.0	0.6

(2) 高等学校等進学者数のうち,高等学校の通信制課程(本科)へ進学した者を除いた進学者数は53,235人で前年より3,166人減少し,男子は27,216人で前年より1,510人,女子は26,019人で前年より1,656人それぞれ減少している。

高等学校等進学率(全卒業生数のうち高等学校等進学者の占める割合)は97.7%となっている。このうち高等学校の通信制課程(本科)へ進学した者を除いた進学率は97.0%で,前年より0.1ポイント上昇している。男子は96.8%で前年より0.1ポイント上昇し,女子は97.2%で前年より0.2ポイント上昇している。

男女別の進学率は,昭和42年以降女子の進学率が男子のそれを上回っている。

図9 中学校卒業生数及び進学率の推移



(3) 就職者総数(「就職者」に「高等学校等進学者」・「専修学校(高等課程)進学者」・「専修学校(一般課程)等入学者」及び「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者を加えた全就職者数)は340人(男子254人,女子86人)で,前年より35人減少している。

就職率(全卒業生数のうち就職者総数の占める比率)は0.6%で,前年と同率である。

就職者総数を産業部門別にみると,最も多いのが第3次産業の168人(就職者総数の49.4%)で,次いで第2次産業の155人(同45.6%)となっている。

就職者総数のうち県外(出身中学校が所在する県以外の県)へ就職した者は48人で,就職者総数の14.1%を占め,前年より1.3ポイント上昇している。

2 高等学校(全日制課程・定時制課程)卒業生

(1) 平成17年3月の高等学校卒業生は51,418人(男子25,992人,女子25,426人)で,前年より1,886人(3.5%)減少している。卒業生の進路別内訳は,「大学等進学者」23,480人,「専修学校(専門課程)進学者」10,451人,「専修学校(一般課程)等入学者」5,995人,「公共職業能力開発施設等入学者」169人,「就職者」6,522人,「一時的な仕事に就いた者」1,735人,「左記以外の者」及び「死亡・不詳の者」3,066人となっている。

(2) 大学等進学者数は23,480人で,うち男子は11,688人,女子は11,792人で,前年より530人(2.3%)増加している。

進学率(全卒業生数のうち大学等進学者の占める比率)は45.7%で,うち男子は45.0%,女子は46.4%となっている。

このうち,大学・短期大学の通信教育部に進学した者を除いた進学率は45.6%で,前年より2.6ポイント上昇している。

男女別の進学率は,昭和48年以降女子の進学率が男子のそれを上回っている。

図10 高等学校卒業生数,進学率及び就職率の推移

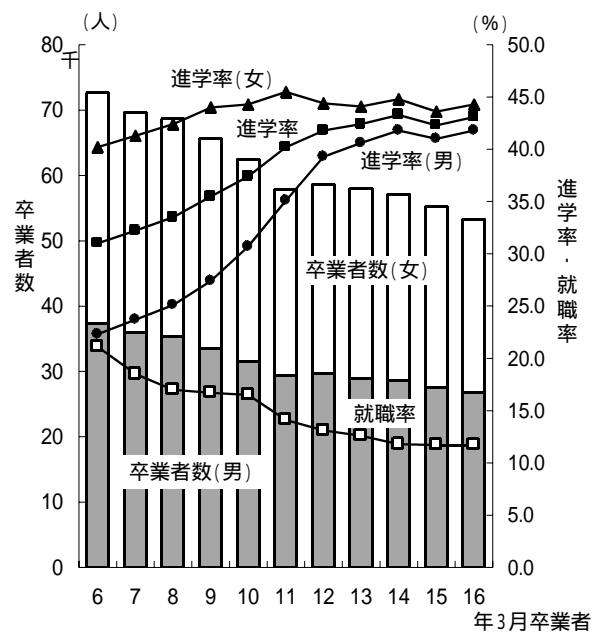


表11 高等学校の進路別卒業生数

区分	卒業生数	大学等		専修学校	専修学校	公共職業能力開発施設等入学者 D	就職者	一時的な仕事に就いた者	左記以外の者	死亡・不詳の者	ABCDのうち就職している者(再掲)	大学等	就職率	
		進学者	うち通信教育部を除く A	(専門課程)進学者 B	(一般課程)等入学者 C							進学率 (%)		通信教育部を除く
平成7年	69,677	22,450	22,402	13,893	14,491	...	12,751	...	6,019	73	140	32.2	32.2	18.5
8年	68,733	23,001	22,898	13,754	13,749	...	11,582	...	6,544	103	125	33.5	33.3	17.0
9年	65,669	23,335	23,256	13,163	12,217	...	10,868	...	5,904	182	98	35.5	35.4	16.7
10年	62,503	23,390	23,350	11,932	11,258	...	10,281	...	5,538	104	60	37.4	37.4	16.5
11年	57,865	23,274	23,240	10,711	8,554	201	8,144	...	6,801	120	39	40.2	40.2	14.1
12年	58,633	24,524	24,495	11,388	7,759	216	7,604	...	6,922	220	76	41.8	41.8	13.1
13年	58,013	24,575	24,550	11,297	7,610	217	7,251	...	6,770	293	56	42.4	42.3	12.6
14年	57,134	24,738	24,722	11,140	7,437	199	6,668	...	6,947	5	56	43.3	43.3	11.8
15年	55,225	23,354	23,311	11,087	7,586	242	6,420	...	6,536	-	58	42.3	42.2	11.7
16年	53,304	22,950	22,919	11,040	7,183	148	6,213	2,083	3,686	1	32	43.1	43.0	11.7
17年	51,418	23,480	23,448	10,451	5,995	169	6,522	1,735	3,056	10	23	45.7	45.6	12.7

(3) 専修学校(専門課程)進学者は10,451人(男子4,312人,女子6,139人)で,進学率は20.3%となり前年より0.4ポイント低下している。

(4) 就職者総数(「就職者」に「大学等進学者」・「専修学校(専門課程)進学者」・「専修学校(一般課程)等入学者」及び「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者を加えた全就職者数)は6,545人で,前年より300人(4.8%)増加している。

就職率は12.7%で,前年より1.0ポイント上昇している。

就職者総数を産業別にみると,製造業が2,144人(就職者総数の32.8%)で最も多く,次いで卸売・小売業1,086人(同16.6%),サービス業が694人(同10.6%)等となっている。

就職者総数を職業別にみると,生産工程・労務作業者が2,508人(就職者総数の38.3%)と最も多く,次いでサービス職業従事者1,295人(同19.8%),販売従事者が952人(同14.5%),事務従事者770人(同11.8%)等となっている。

就職者総数のうち,県外(出身高等学校が所在する県以外の県)へ就職した者は1,476人(前年1,503人)で就職者総数の22.6%であり,前年より1.5ポイント低下している。

図11 高等学校卒業者の男女別にみた主な産業別就職者数の比率

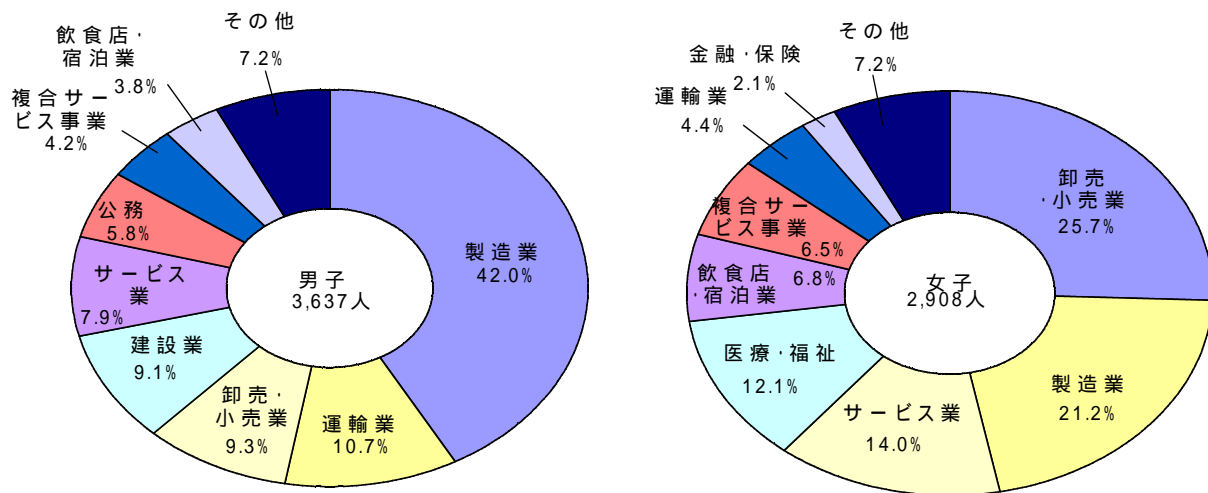
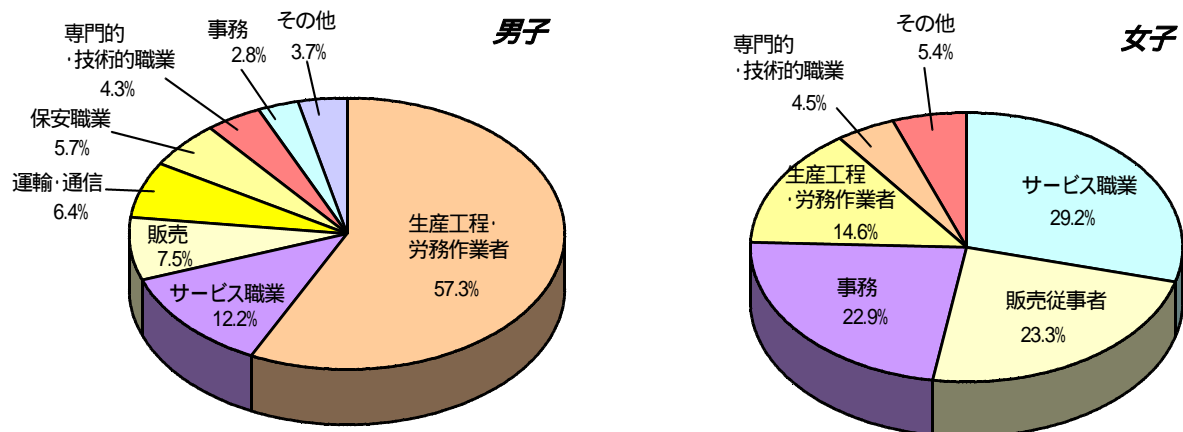


図12 高等学校卒業者の男女別にみた主な職業別就職者数の比率



3 高等学校(通信制課程)卒業生

(1) 平成16年度間の高等学校(通信制課程)の卒業生数は955人(男子459人,女子496人)で,前年度間より236人増加している。

卒業生の進路別内訳は,「大学等進学者」105人(卒業生に占める比率11.0%),「専修学校(専門課程)進学者」196人(同20.5%),「専修学校(一般課程)等入学者」23人(同2.4%),「公共職業能力開発施設等入学者」1人(同0.1%),「就職者」75人(同7.9%),「左記以外の者及び死亡・不詳の者」555人(同58.1%)となっている。

4 盲学校・聾学校・養護学校(中学部・高等部)卒業生

(1) 平成17年3月の盲・聾・養護学校の各中学部の卒業生数は,盲学校1人,聾学校22人,養護学校288人で,前年と比べ盲学校は4人減少,聾学校は1人減少,養護学校は4人減少している。

卒業生のうち高等学校等進学者数は,盲学校1人(卒業生に占める割合100.0%),聾学校22人(同100.0%),養護学校282人(同97.9%)で,その大部分は各学校の高等部へ進学している。

(2) 平成17年3月の盲・聾・養護学校の各高等部の卒業生数は,盲学校6人,聾学校40人,養護学校538人で,前年と比べ,盲学校は7人減少,聾学校は3人増加,養護学校は63人増加している。

卒業生のうち大学等進学者数は,盲学校0人(卒業生に占める割合0.0%),聾学校30人(同75.0%),養護学校2人(同0.4%)となっている。

卒業生のうち就職者数は,盲学校2人(卒業生に占める割合33.3%),聾学校2人(同5.0%),養護学校133人(同24.7%)となっている。

[不 就 学 学 齡 児 童 生 徒 調 査]

1 就学免除者

就学免除者数は学齡児童(6歳～11歳)2人,学齡生徒(12歳～14歳)1人となっている。

2 就学猶予者

就学猶予者数は学齡児童12人,学齡生徒3人となっている。

3 1年以上居所不明者

1年以上居所不明者数は学齡児童2人となっている。

4 学齡児童生徒死亡者

平成16年度間に死亡した学齡児童は14人,学齡生徒は6人となっている。

[学 校 施 設 調 査]

1 学校土地面積

私立学校の土地面積は5,492,952㎡(設置者所有4,728,211㎡,借用764,741㎡)で,前年度より149,949㎡増加している。

公立の専修学校の土地面積は127,125㎡(設置者所有123,102㎡,借用4,023㎡)で,前年度と同じである。

2 学校建物面積

私立学校の建物面積は1,779,689㎡(設置者所有1,772,755㎡,借用6,934㎡)で,前年度より11,971㎡増加している。

公立の専修学校の建物面積は57,669㎡(設置者所有57,669㎡,借用0㎡)で,前年度と同じである。

注) 調査対象は私立の各学校(小学校,中学校,高等学校,中等教育学校,幼稚園,専修学校,各種学校)及び公立の専修学校である。